

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年2月9日

上場会社名 **株式会社 ニ コ ン** (コード番号：7731 東証・大証第一部)
(URL <http://www.nikon.co.jp>)

代 表 者 取締役会長 吉 田 庄一郎

問合せ先責任者 コーポレートセンター広報部 佐々木 裕一 岡 本 恭 幸 TEL(03)3216-1032

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 有 中間連結財務諸表作成基準に準拠しつつ、投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結 (新規) 2社 (除外) 1社
持分法 (新規) 1社 (除外) - 社

2. 平成16年3月期 第3四半期業績の概況 (平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日)

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)本第3四半期業績の概況（連結）中の百万円単位の表示金額は、百万円未満を切捨てています。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	362,111	5,763	8,155	2,819
(参考)15年3月期	468,958	4,186	6,741	8,142

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	7 63	-
(参考)15年3月期	22 03	-

(注) 四半期決算の開示は、平成16年3月期第1四半期より実施しておりますので、前年第3四半期の実績は記載しておりません。また前年第3四半期との比較についても行っておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

精機事業における縮小投影型露光装置では、半導体メーカー各社の設備投資は、昨年秋以降回復基調にはあるものの、依然として慎重なものとなりました。一方、液晶用露光装置では、液晶パネル需要が旺盛であり、順調に推移しました。その結果、全体としては前回業績予想公表時の見込み通りの展開となりました。

映像事業では、デジタルカメラは、引き続き市場が拡大し、販売台数は増加しましたが、一部機種を増産遅延や市場価格の競争激化等の影響を受けました。

インストルメンツ事業では、北米・欧州市場では引き続き厳しい状況が続きましたが、国内及びアジア市場は順調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は3,621億11百万円、経常損失は81億55百万円、当期純損失は28億19百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	593,753	163,131	27.5	441 80
(参考)15年3月期	576,911	162,463	28.2	439 81

(注) 四半期決算の開示は、平成16年3月期第1四半期より実施しておりますので、前年第3四半期の実績は記載しておりません。また前年第3四半期との比較についても行っておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	1,335	16,117	14,985	21,033
(参考)15年3月期	9,404	18,532	8,645	23,692

(注) 四半期決算の開示は、平成16年3月期第1四半期より実施しておりますので、前年第3四半期の実績は記載しておりません。また前年第3四半期との比較についても行っておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は前連結会計年度末と比較して以下のとおりであります。

総資産は、主にたな卸資産の増加により168億41百万円増加した結果、5,937億53百万円となり、また、株主資本は6億67百万円増加し1,631億31百万円となったことから、株主資本比率は27.5%となりました。

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加があったものの、たな卸資産及び売上債権の増加などにより、13億35百万円の支出となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、161億17百万円の支出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還があったものの短期借入金の増加などにより、149億85百万円の収入となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は210億33百万円となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	530,000	6,000	3,500

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)9円48銭

(参考)平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	380,000	7,500	2,500

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)6円77銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成15年11月7日に公表しました当期の業績予想につきましては、売上高は公表の水準をほぼ達成する見通しですが、経常利益及び当期利益は、主に第3四半期にデジタルカメラの一部機種を増産遅延や価格競争の影響を受けたこと、また経営効率化の一環として、当社において不動産の売却を決定したことから見直しを行いました。その結果、上記の通り、通期の連結並びに単独の業績予想を修正いたします。

以 上